



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月9日

上場会社名 関西ペイント株式会社
 コード番号 4613 URL <http://www.kansai.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 石野 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 浅妻 慎司

TEL 06-6203-5531

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	106,638	19.3	7,686	12.4	9,328	14.4	4,107	30.2
2018年3月期第1四半期	89,416	11.1	8,772	3.2	10,893	15.6	5,888	16.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 3,247百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 2,004百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	15.97	13.73
2018年3月期第1四半期	22.88	19.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	579,523	314,247	46.6
2018年3月期	601,330	322,425	46.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 270,109百万円 2018年3月期 276,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		13.50		13.50	27.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		16.00		14.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期中間配当金の内訳 普通配当14円00銭 創立100周年記念配当2円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	215,000	12.1	18,700	5.9	22,000	2.3	13,500	7.1	52.48
通期	435,000	8.2	40,000	11.7	46,500	39.9	27,500	55.4	106.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	272,623,270 株	2018年3月期	272,623,270 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	15,410,477 株	2018年3月期	15,354,390 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	257,252,050 株	2018年3月期1Q	257,334,970 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は、地政学的リスクの高まりが継続し、各国の政治・政策・通商問題の動向など依然として不確実性が見られますが、回復の続く米国の好調な企業マインドや雇用の改善、欧州の底堅い個人消費などに加え、中国を始めアジア新興国も各種政策の効果により景気の持ち直しの動きが継続しました。わが国経済は、世界景気や雇用所得環境の改善を受け、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,066億38百万円（前年同期比19.3%増）となりましたが、営業利益は原材料価格高騰や販売費及び一般管理費が増加したことにより日本セグメントの利益が減少したことなどから76億86百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

経常利益は持分法投資利益が増加したものの、為替差損が増加したことなどにより93億28百万円（前年同期比14.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益の計上がありました一方、前年は退職給付制度改定益の計上があったことから、41億7百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

《日本》

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は伸長しました。工業分野では、建設機械向け塗料などが堅調に推移し、売上は前年を上回りました。船舶分野においては造船分野の低迷を受け、売上は前年を大きく下回りました。建築分野及び防食分野においては市況の本格的回復にはいたらず、売上は前年を下回りました。自動車分野（補修用）では、市況が低調に推移するなか、高付加価値製品の拡販継続に努め、売上は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメント全体の売上は前年を僅かながら上回りましたが、原材料価格の高騰、販売管理費の増加により、利益は減少し、売上高は383億15百万円（前年同期比1.1%増）、経常利益は46億18百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

《インド》

引き続き内需を中心に経済が伸長し、自動車分野では自動車生産台数の増加が続き、売上は伸長しました。建築分野においても、需要拡大継続のもと、販売活動の促進に取組み、売上は伸長しました。原材料価格高騰の影響はありますものの、コスト低減に努め、利益は増加しました。しかしながら、円貨ベースでの業績は、為替換算による押し下げの影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は230億91百万円（前年同期比0.7%減）、経常利益は34億66百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産は前年を下回り、自動車分野での売上は減少しましたが、工業分野の売上は建設機械向け塗料などが伸長し、中国全体での売上は前年を上回りました。インドネシアにおいては、経済が堅調に推移し、自動車分野及び建築分野において売上は前年を上回りました。タイにおいては、自動車生産の回復を受け業績は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は157億32百万円（前年同期比2.3%増）となりましたが、経常利益は原材料価格高騰の影響や販売費及び一般管理費が増加したことなどにより13億93百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努めました。また、2017年8月に連結子会社化した、東アフリカ地域各社の業績が寄与し、売上は前年を上回りました。しかしながら、継続している通貨安による原材料価格の高騰及び価格競争の激化などから、収益は大きく圧迫され、業績は前年並みとなりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は99億24百万円（前年同期比39.9%増）、経常損益はのれんの償却を含め経常損失11億73百万円（前年同期比 - %）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車生産は前年を下回ったものの販売活動促進の取組により、現地通貨ベースでは売上は大きく増加し、各種コスト低減にも努めました結果、利益も大きく増加しました。しかしながら、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。

なお、2017年3月に連結子会社化した、Kansai Helios Groupの業績が寄与し、セグメント全体の業績は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は180億32百万円（前年同期比308.9%増）、経常利益は7億70百万円（前年同期比86.5%増）となりました。

《その他》

北米では、工業分野において自動車部品向け塗料など拡販に努め売上は伸張しました。しかしながら、自動車生産は低調に推移し、競争の激化等の影響もあり、持分法投資利益は減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は15億42百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益は2億52百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、2,488億35百万円（前連結会計年度末比143億22百万円減）となりました。流動資産の減少は、主に短期借入金の返済により現金及び預金が減少したことによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,306億87百万円（前連結会計年度末比74億84百万円減）となりました。固定資産の減少は、主に有形固定資産及びのれんなどの減少によるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、1,625億17百万円（前連結会計年度末比262億38百万円増）となりました。流動負債の増加は、主に短期借入金などが減少したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、1,027億58百万円（前連結会計年度末比398億67百万円減）となりました。固定負債の減少は、主に転換社債型新株予約権付社債などの減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,142億47百万円（前連結会計年度末比81億77百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2018年5月11日発表の2019年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,088	47,924
受取手形及び売掛金	114,556	115,790
有価証券	8,579	6,785
商品及び製品	35,914	37,903
仕掛品	5,027	6,008
原材料及び貯蔵品	25,658	26,192
その他	11,371	11,047
貸倒引当金	△3,038	△2,817
流動資産合計	263,158	248,835
固定資産		
有形固定資産	123,913	121,407
無形固定資産		
のれん	47,203	45,025
その他	30,542	28,678
無形固定資産合計	77,745	73,703
投資その他の資産		
投資有価証券	99,812	97,763
その他	42,245	43,800
貸倒引当金	△5,544	△5,988
投資その他の資産合計	136,512	135,576
固定資産合計	338,172	330,687
資産合計	601,330	579,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,592	73,958
短期借入金	27,414	13,442
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	-	40,576
未払法人税等	4,211	3,928
賞与引当金	5,330	3,205
その他	25,730	27,405
流動負債合計	136,279	162,517
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	100,937	60,198
退職給付に係る負債	8,237	8,237
その他	33,450	34,322
固定負債合計	142,625	102,758
負債合計	278,904	265,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	13,232	13,232
利益剰余金	230,255	230,877
自己株式	△25,264	△25,393
株主資本合計	243,882	244,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,363	36,666
繰延ヘッジ損益	1,423	787
為替換算調整勘定	△6,732	△13,069
退職給付に係る調整累計額	1,393	1,349
その他の包括利益累計額合計	32,447	25,733
非支配株主持分	46,096	44,138
純資産合計	322,425	314,247
負債純資産合計	601,330	579,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	89,416	106,638
売上原価	60,185	73,072
売上総利益	29,231	33,566
販売費及び一般管理費	20,458	25,880
営業利益	8,772	7,686
営業外収益		
受取利息	360	339
受取配当金	753	849
持分法による投資利益	1,067	1,363
雑収入	458	343
営業外収益合計	2,640	2,895
営業外費用		
支払利息	285	477
たな卸資産廃棄損	29	63
為替差損	75	283
雑支出	129	428
営業外費用合計	520	1,253
経常利益	10,893	9,328
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	38	518
子会社清算益	-	31
退職給付制度改定益	760	-
特別利益合計	800	553
特別損失		
固定資産除売却損	40	64
投資有価証券評価損	0	4
特別損失合計	41	69
税金等調整前四半期純利益	11,652	9,813
法人税等	4,654	4,739
四半期純利益	6,997	5,073
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,109	965
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,888	4,107

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	6,997	5,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	334	62
繰延ヘッジ損益	-	△635
為替換算調整勘定	△3,679	△5,880
退職給付に係る調整額	△117	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,530	△1,823
その他の包括利益合計	△4,993	△8,320
四半期包括利益	2,004	△3,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,450	△2,605
非支配株主に係る四半期包括利益	554	△641

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	37,885	23,252	15,373	7,096	4,409	88,017	1,399	89,416	-	89,416
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	4,075	6	900	45	7	5,035	-	5,035	△5,035	-
計	41,960	23,259	16,273	7,142	4,417	93,052	1,399	94,451	△5,035	89,416
セグメント利益または損失 (△)	6,138	3,633	1,566	△1,173	413	10,578	315	10,893	-	10,893

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	38,315	23,091	15,732	9,924	18,032	105,096	1,542	106,638	-	106,638
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	3,444	10	1,013	65	23	4,557	-	4,557	△4,557	-
計	41,760	23,101	16,746	9,990	18,055	109,653	1,542	111,196	△4,557	106,638
セグメント利益または損失 (△)	4,618	3,466	1,393	△1,173	770	9,075	252	9,328	-	9,328

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等